

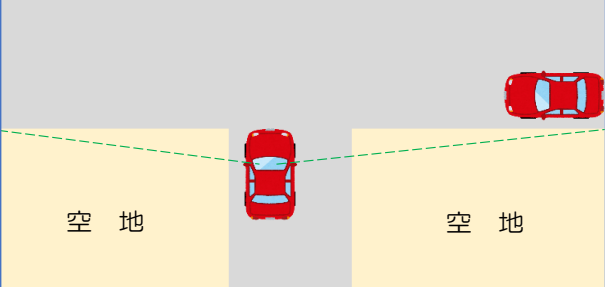
1.カーブミラーの設置基準を基にした判断基準例について

カーブミラーの設置は、「摂津市道路反射鏡設置基準」を基に判断しています。

具体例は下記のとおりです。

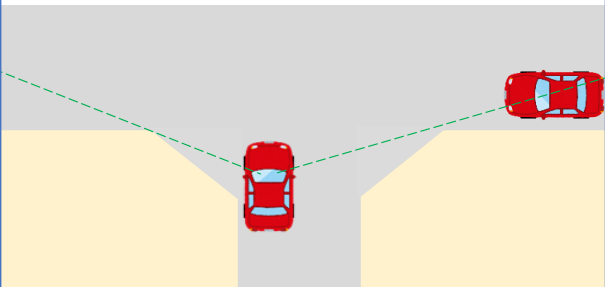
設置しないと判断する例
(道路交通法に定められている運転を行えば、安全に通行できる)

①空地等の土地状況により、見通しが確保できている場合。

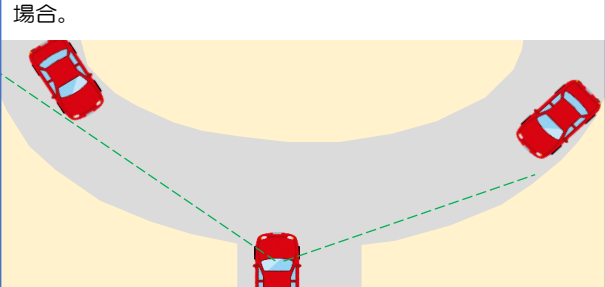


空地 空地

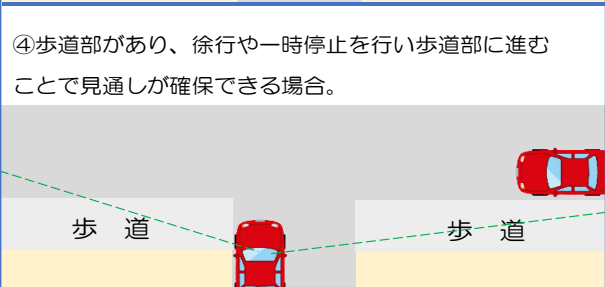
②隅切りがあり、見通しが確保できている場合。



③外にカーブしており、見通しが確保できている場合。



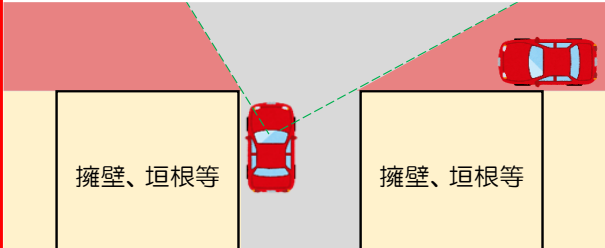
④歩道部があり、徐行や一時停止を行い歩道部に進むことで見通しが確保できる場合。



歩道 歩道

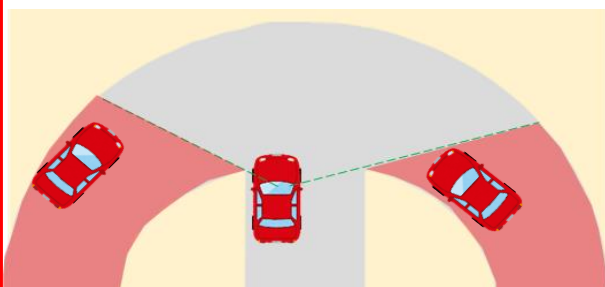
設置を検討する例

①道路幅員が狭く、擁壁や垣根等により、見通しが確保できない場合。

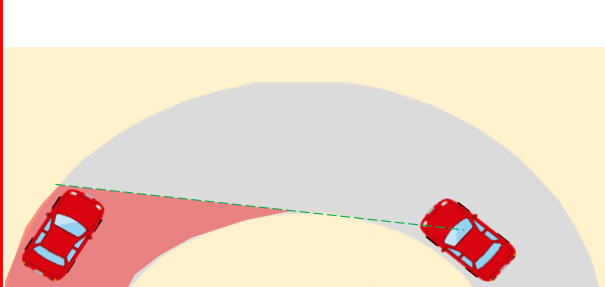


擁壁、垣根等 擁壁、垣根等

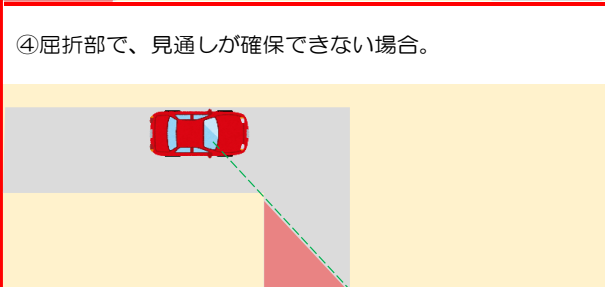
②内にカーブしており、見通しが確保できない場合。



③急カーブで、見通しが確保できない場合。



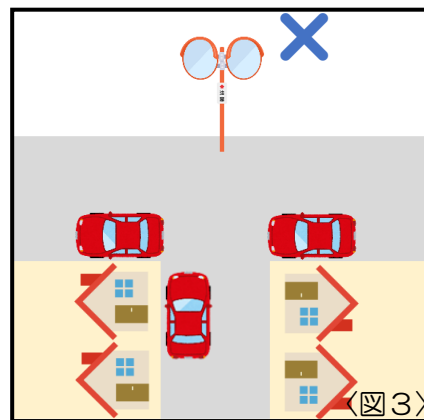
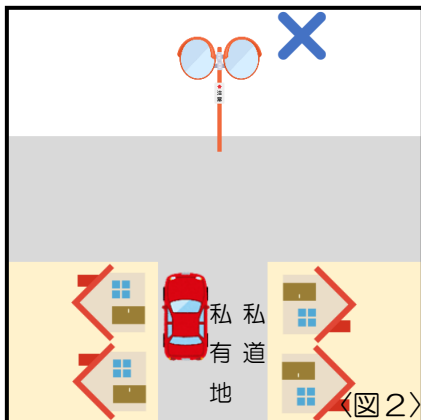
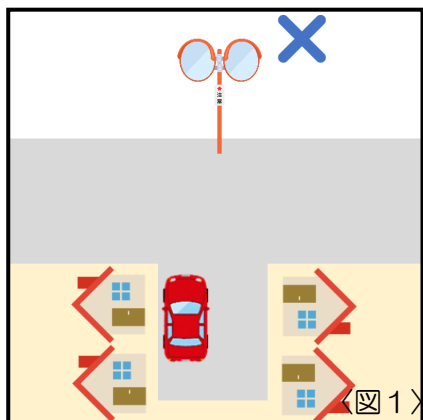
④屈折部で、見通しが確保できない場合。



2.カーブミラーを設置しない場合

下記の用途については、利用者や受益者が限定されるため、設置しません。

- ①袋路状道路（行き止まりで通り抜けができない道）〈図1〉。
- ②私有地の出入口又は私道から公道を確認するためのもの〈図2〉。
- ③障害物等により、一時的に見通しが悪くなっているもの（自動車の渋滞等）〈図3〉。



3.カーブミラーを設置できない場合

下記の条件に該当する場合は設置できません。

- ①歩行者、車両の通行等の妨げとなるおそれのある場所〈図4〉
- ②隣接する土地、建物等の利用の妨げとなるおそれのある場所〈図5〉

